

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	レセプト審査支払手数料			事業コード	0672
所属コード	043500	課等名	市民部健康保険課	係名	給付係
課長名	伊藤 伸二	担当者名	村上 聖子	内線番号	3114
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード	1
	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード	5
	基本事業	国保制度の健全運営	コード	2
予算費目名	国民健康保険費特別会計 02 款 01 項 05 目 審査支払手数料(001-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰越 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 53 年度～	
根拠法令等	国民健康保険法第 45 条の 5 及び岩手県国民健康保険団体連合会規約			

(2) 事務事業の概要

岩手県国民健康保険団体連合会の診療報酬支払業務規定により、各保険者(県内市町村及び医師国保)は診療報酬支払いのレセプト審査を国保連に委託しており、その審査手数料の支払いを行うものである。

(3) この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

国民健康保険法及び岩手県国民健康保険団体連合会規約による。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

これまでの国保加入者の増加及び医療機関での受診件数が増加してきたが、ここ数年では横ばい又は少し減少の傾向になりつつあり今後も同様と予想される。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象(誰が、何が対象か)

診療報酬明細書(レセプト)

- ・診療報酬明細書レセプトとは、保険利用機関・保険薬局が受診患者ごとに毎月一枚作成し、各月の診療内容とかかった医療費用の額が記載されている。

(2) 対象指標(対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21 年度	22 年度	23 年度	23 年度	26 年度
------	----	-------	-------	-------	-------	-------

		実績	実績	計画	実績	見込み	
A	診療報酬明細書(レセプト)枚数	件	1,148,411	1,145,406	1,095,350	1,150,155	1,110,100
B							
C							

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

- ① 医療機関からの医療費の支給に係るレセプトの審査及び医療費支払い業務を岩手県国民健康保険団体連合会に委託する。
- ② 市は審査手数料を国保連に支払う。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A	レセプト1枚当たり審査手数料 円	60	60	60	60	60
B	診療報酬明細書(レセプト)枚数 枚	1,148,411	1,145,406	1,095,350	1,150,155	1,110,100
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

医療機関等からの医療費の請求について、各保険者が国保連に対して、レセプトの取りまとめの内容審査・支払いを一括委託することにより、保険者の当該業務に係る事務負担を軽減する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A	診療報酬明細書審査支払手数料 <input type="checkbox"/> 上げる <input checked="" type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	千円	68,905	68,724	65,721	69,009	66,606
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	68,905	68,724	65,721	69,009
	⑤その他()	千円	0	0	0	0

	A 小計 ①～⑤	千円	68,905	68,724	65,721	69,009
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	24	24	24	24
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	96	96	96	96
計	トータルコスト A+B	千円	69,001	68,820	65,817	69,105
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

結びついている。

理由：最も効率手な機関に委託しているので、結果に結びつくと考えられる。

② 市の関与の妥当性

妥当である。・・・法定事務である。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である。・・・法定事務である。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。

その内容：効率的なレセプト審査ができない。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

向上余地がない。

理由：実施できる機関が他にないため。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

公平・公正である。

理由：1 件当たりの単価が設定されており、適正である。

(4) 効率性評価

事業費、人件費とも削減できない。

理由：事業費内訳はレセプト審査実績の手数料支払額である。また、審査機関の人件費等であり、削減は難しい。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

特になし。

- (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法
特になし。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

- (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

レセプト審査やこれに伴う支払は，県内全市町村が国保連に委託して実施している。

21年度からは，レセプトの電子化が促進され，月間の縦覧点検などを国保連が行うようになり，より効率的な点検が行われることとなった。

保険者の審査支払事務は国保連と支払基金（社保分）が行っているが，国保連のレセプト点検の効果が支払基金より低いことから，今後，更なる点検効果の充実を求めていく。

また，現在，国が検討を進めている国保連と支払基金の統合については，県内の市町村や国保連とも意見交換し検討していく必要がある。